GLOBERIDE
A Lifetime Sports Company

2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名　グローブライド株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7990　URL　https://www.globeride.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長執行役員　（氏名）　尾ノ上幸司朗
問合せ先責任者　（役職名）　取締役常務執行役員管理本部長　（氏名）　谷口　央樹　（TEL）042-475-2115
半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月４日
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：有　（　証券アナリスト、機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	69,767	6.4	4,302	△12.1	4,332	△15.0	3,455	△12.0
2026年３月期中間期	65,573	0.5	4,893	△2.4	5,094	5.3	3,928	18.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　5,314百万円（144.6%）　2026年３月期中間期　2,172百万円（△72.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	161.45	―
2026年３月期中間期	170.85	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	124,099	67,785	54.4
2026年３月期	119,631	64,929	54.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　67,523百万円　2026年３月期　64,673百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	45.00	―	45.00	90.00
2027年３月期	―	50.00			
2027年３月期(予想)			―	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	5.5	7,000	7.7	6,400	△10.9	5,500	1.7	252.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	22,199,300株	2026年３月期	22,800,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	991,404株	2026年３月期	1,001,053株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	21,403,043株	2026年３月期中間期	22,991,781株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（セグメント情報等） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の堅調な推移等を背景に、緩やかな景気回復基調が継続しました。一方で、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、円安基調の継続に伴う物価上昇により生活防衛意識が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外においては、米国を中心に緩やかな回復が見られたものの、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の変動や資源・エネルギー供給への懸念に加え、物流コストの上昇やサプライチェーンへの影響が顕在化しております。また、中国経済の停滞、各国における金融政策の見直しを背景とした為替相場や金融資本市場の動向にも注視が必要であり、景気の下振れリスクを含め、先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした情勢の下、当社グループの属するアウトドア・スポーツ・レジャー業界におきましては、エネルギー価格の高騰や物価上昇による消費マインドへの影響が見られるものの、市況は緩やかな回復基調で推移しました。

そのような中、当社グループにおきましては、ライフタイム・スポーツ・カンパニーとして、自然とスポーツを愛する皆様に、魅力ある製品と質の高いサービスの提供を行った結果、当中間連結会計期間におきましては、売上高は697億６千７百万円（前年同期比6.4%増）となりました。利益面におきましては、グループ間取引在庫の一時的な増加に伴う未実現利益消去の影響により売上原価が増加したこと及び販売費及び一般管理費が増加したこと等により、営業利益は43億２百万円（前年同期比12.1%減）、経常利益は43億３千２百万円（前年同期比15.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は34億５千５百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高及び振替高を含んでおります。

①日本

日本地域におきましては、エネルギー価格や物価の高騰が家計の可処分所得に影響を及ぼしている状況からアウトドア・スポーツ・レジャーの市況は依然足取りの重い状況となっております。そのような中、当社グループは、フィッシングではスピニングリール「CERTATE」、電動リール「SEABORG」、シーバス用ロッド「morethan」、ゴルフでは「ONOFF AKA」などお客様にご満足いただける新製品の投入とサービスの提供を行ってまいりました結果、売上高は501億１千８百万円（前年同期比19.8%増）となりましたが、為替変動による原価率の悪化等によりセグメント利益は34億３千万円（前年同期比8.9%減）となりました。

②米州

米州地域におきましては、関税政策の影響等も落ち着きを見せ始め、市況は堅調に推移しております。そのような中、米国市場向けには「TATULAシリーズ」を始めとしたバスフィッシング用品や海釣り用のスピニングリール「BGシリーズ」を中心とした販売拡大の取り組みを行った結果、売上高は95億１千９百万円（前年同期比16.5%増）、セグメント利益は５億４千６百万円（前年同期比832.3%増）となりました。

③欧州

欧州地域におきましては、中東情勢の影響によるガソリン価格の高騰等により、アウトドア・スポーツ・レジャーの市況は足取りの重い状況となっております。そのような中、引き続き各地域のニーズに合った製品の投入等を行った結果、また円安による換算の影響もあり、売上高は97億３千万円（前年同期比5.2%増）となりましたが、セグメント利益は５億３千１百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

④アジア・オセアニア

アジア・オセアニア地域におきましては、国ごとの社会経済情勢にはばらつきが見られる中、中国を中心とした中華圏の市況は引き続き足取りが重い状況である一方、韓国・東南アジアの市況は堅調に推移しております。そのような中、当社グループにおきましては、日本製の高級品や現地専用品を中心に売上拡大に取り組んでまいりました結果、売上高は336億８千４百万円（前年同期比35.2%増）となりました。またセグメント利益は、工場における生産計画の時期差異による生産機種構成の変化や、グループ間取引在庫の増加に伴う未実現利益消去の影響があったものの、売上高の増加に加え、円安による換算の影響もあり、28億９千８百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ44億６千７百万円増加し、1,240億９千９百万円（前連結会計年度末は1,196億３千１百万円）となりました。これは主に棚卸資産が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ28億５千５百万円増加し、677億８千５百万円（前連結会計年度末は649億２千９百万円）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したこと及び円安に伴い為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月13日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,025	13,614
受取手形及び売掛金	15,581	17,305
電子記録債権	797	870
商品及び製品	34,866	37,998
仕掛品	4,501	4,623
原材料及び貯蔵品	4,836	5,303
その他	5,206	3,532
貸倒引当金	△728	△767
流動資産合計	78,086	82,480
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,054	6,047
その他（純額）	19,847	19,323
有形固定資産合計	25,902	25,371
無形固定資産		
その他	1,478	1,572
無形固定資産合計	1,478	1,572
投資その他の資産		
投資有価証券	9,345	9,934
退職給付に係る資産	378	382
その他	4,480	4,396
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	14,164	14,675
固定資産合計	41,545	41,618
資産合計	119,631	124,099

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,700	6,433
電子記録債務	956	1,334
短期借入金	15,173	18,601
未払法人税等	1,173	1,656
賞与引当金	946	1,169
役員賞与引当金	66	36
その他	8,119	7,785
流動負債合計	32,136	37,016
固定負債		
長期借入金	13,353	10,276
退職給付に係る負債	5,752	5,694
その他	3,458	3,326
固定負債合計	22,565	19,297
負債合計	54,702	56,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,184	4,184
利益剰余金	46,868	48,164
自己株式	△1,654	△1,952
株主資本合計	49,397	50,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,532	5,954
繰延ヘッジ損益	104	37
土地再評価差額金	1,951	1,951
為替換算調整勘定	7,728	9,221
退職給付に係る調整累計額	△41	△38
その他の包括利益累計額合計	15,275	17,127
非支配株主持分	256	262
純資産合計	64,929	67,785
負債純資産合計	119,631	124,099

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	65,573	69,767
売上原価	40,209	43,584
売上総利益	25,363	26,182
販売費及び一般管理費	20,470	21,879
営業利益	4,893	4,302
営業外収益		
受取利息	35	32
受取配当金	101	144
不動産賃貸料	4	4
為替差益	188	3
その他	241	283
営業外収益合計	571	468
営業外費用		
支払利息	276	348
固定資産除却損	34	17
その他	60	72
営業外費用合計	370	439
経常利益	5,094	4,332
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	－	810
特別利益合計	2	813
特別損失		
固定資産売却損	2	18
固定資産解体撤去費	－	109
特別損失合計	2	127
税金等調整前中間純利益	5,094	5,018
法人税、住民税及び事業税	1,167	1,560
中間純利益	3,927	3,457
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△0	1
親会社株主に帰属する中間純利益	3,928	3,455

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	3,927	3,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	626	421
繰延ヘッジ損益	11	△67
為替換算調整勘定	△2,417	1,497
退職給付に係る調整額	23	3
その他の包括利益合計	△1,754	1,856
中間包括利益	2,172	5,314
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,164	5,306
非支配株主に係る中間包括利益	8	7

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	34,218	8,167	9,218	13,968	65,573
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	34,218	8,167	9,218	13,968	65,573
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,604	7	31	10,953	18,596
計	41,822	8,174	9,250	24,922	84,169
セグメント利益	3,766	58	633	2,316	6,775

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	6,775
セグメント間消去及び全社費用（注）	△1,882
中間連結損益計算書の営業利益	4,893

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	33,822	9,512	9,722	16,709	69,767
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	33,822	9,512	9,722	16,709	69,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,295	7	8	16,975	33,285
計	50,118	9,519	9,730	33,684	103,052
セグメント利益	3,430	546	531	2,898	7,407

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	7,407
セグメント間消去及び全社費用（注）	△3,104
中間連結損益計算書の営業利益	4,302

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。